

使用方法

あらかじめ、ピストンシール、ダストブーツ、
Cリング（無いものもあり）を、ラバーグリス
を塗布して確実に組み付けておきます。

<注意> 作業写真のツールは、状態が見や
すいように塗装してあります。現品とは
異なりますのでご注意ください。



<1> ピストンサイズに合わせて、大小どちら
かのピストン受けで、ダストブーツを押し
下げながら引き出すように構えます。



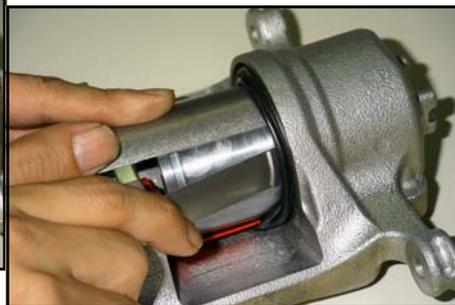
<2> ラバーグリスを塗布したピストンを、ピ
ストン受けに乗せます。ピストンを、軽く
押さえつけるように保持します。



<3> ヘラ(大)の突起がある方を上(外側)に向
け、ピストン後方からキャリア内に差し
込みます。



<4> ダストブーツを、少し引き出すようにヘ
ラを起し、ピストンに重ね、ピストン受
けと共にやや引き出して保持します。



<5> ヘラ(小)の突起がある方を上(外側)に向
け、ピストン後方どちらかのサイドから、
キャリア内に差し込みます。



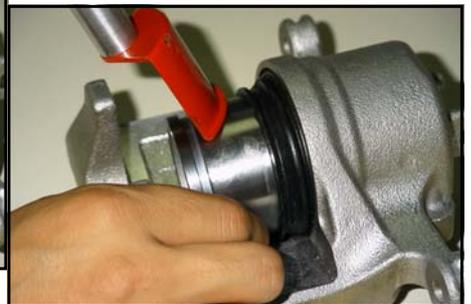
<6> ヘラを起ししながら、軽く引いたり戻し
たりして、ダストブーツをピストン外径に
被せます。



<7> 逆サイドも同様に、ダストブーツがピス
トンに被さるよう作業します。



<8> ダストブーツの全周が、ピストン外径に
被さったら、ゆっくりとヘラを抜き取りま
す。



<9> ピストン受けを、ゆっくりとピストン外
径に沿って回転させ、ダストブーツのめく
れなどを直しながら上方へ抜き取ります。

小径ピストンで、ダストブーツにゆとりがある場合の使用方法



<1> ヘラ(大)の突起がある方を下(外側)にし
て、キャリア内に差し込み、ダストブーツを
少し引き出すように構えます。



<2> ピストンに乗せ、ヘラ(小)の突起がある
方を上(外側)にして、ピストン後方から
キャリア内に差し込みます。



<3> 上下のヘラ後端を、少しつまむように、
ダストブーツの入口を拡げながら、ピスト
ンを押し込みます。



<4> ダストブーツの全周が、ピストン外径に
被さったら、めくれなどを直しなが
ら、ゆっくりとヘラを抜いてください。

